

さよなら原発！ さよなら空母！

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

2013年4月4日 第7号

福島 六ヶ所 未来への伝言

上映会 & 島田恵監督講演会

2013年5月14日(火) @スペースオルタ

福島県の震災避難者は2年が過ぎても約15万人。原発事故による放射能汚染のレベルによって、警戒区域、帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域、計画的避難区域などと線引きされ、地域社会は崩壊、人間関係も分断されています。

原発事故後、日本政府は年間被ばく線量が100ミリシーベルトでも大丈夫と言い、今は20ミリシーベルトを目安として線引きしていますが、原発事故前からの法律の基準は年間1ミリシーベルトです。福島市や郡山市など人口の多い地域を居住制限区域にしないための「基準緩和」です。

放射性物質や放射線を扱う職業人が、被ばく線量を管理し、飲食が禁止されるような環境で、子どもたちが暮らしています。

一方、青森県六ヶ所村には、東京電力を始め、全国の

原発から出た使用済み核燃料を受け入れて貯蔵している施設があります。

核燃料サイクル施設と呼ばれていますが、サイクルの

《開催日》2013年5月14日(火)

《会場》スペースオルタ
(JR新横浜徒歩7分)

《時間》

第1回 上映 pm.1:45~3:30

監督講演 pm.3:30~4:00

第2回 上映 pm.6:30~8:15

監督講演 pm.8:15~8:45

《チケット》

一般 前売り1000円 当日1300円

学生・障がい者

前売り800円 当日1000円

高校生以下無料

・注文方法は同封のチラシをご覧ください。

要の「再処理工場」は1993年着工、20年を経て完成前にすでにボロボロです。プルトニウム利用でサイクルの輪がつながる見通しはなく、原発敷地内の貯蔵プールに入りきれない使用済み核燃料を保管しているだけです。

「福島 六ヶ所 未来への伝言」を制作した島田恵さんは、1986年のチェルノブイリ原発事故後初めて六ヶ所村を訪れ、核燃問題で揺れる村に衝撃を受け取材を始めました。1990年から2002年までは六ヶ所村に住み、多くの写真を発表しています。その島田恵さんが、映像分野で核燃問題を伝えようと、2011年から映画制作に乗り出して完成させたのがこの映画です。

プルトニウムフリーが参加している、ストッププルトニウム神奈川連絡会の主催で、上映会を開催します。

ぜひ、ご家族やお友達と一緒にご覧ください。



「大飯原発運転差し止め仮処分」 の判決に注目を!

福井、関西、岐阜の262名の原告団が、福島原発事故を繰り返してはならないという強い思いで、関西電力を相手に提訴した大飯原発運転差し止め仮処分裁判の判決(決定)が4月初旬にも出されます。

裁判の最大の焦点は、3つの活断層が連動して動いた時に、原子炉を止める制御棒が基準値の2.2秒以内に挿入できるかどうか、活断層の3連動を想定するかどうかにあります。

関西電力は「地震の時は基準値の2.2秒を守らなくてもよい」という暴論を吐くまで追い詰められ、原告団は勝訴を確信しています。しかし、勝訴判決が出ても、それですぐに大飯原発が止まるわけではありません。

関電は判決に従わず、法的な対抗手段をとることが予想されます。関電の悪あがきをやめさせ、

「大飯原発差し止め仮処分裁判」の争点

大飯原発を止めるためにみんなに知ってもらいたいシリーズ①

大飯原発
で止めて!

**活断層が3連動して動けば、
制御棒は決められた時間に挿入できません**

福島原発事故でさえ、規定通りに制御棒が挿入され、核の暴走だけはなんとか食い止めました。
ところが大飯原発では制御棒の挿入が大幅に遅れる可能性があるのです。



原発を停止させるためには世論の大きな盛り上がりが必要です。

関電への申し入れ、政府への要請、緊急署名、マスメディアへの働きかけなど、「大飯を止めろ」の声をあげていきましょう。活断層列島では原発は動かさせません!

皆さんニュースに注目して、すぐに行動してください。詳しい情報は 下記的美浜の会の特設ページやメール、ツイッターなどで確認してください。

<http://www.jca.apc.org/mihama/>



「原発新基準対策 5年猶予撤回を」市民団体、 原子力規制委員会に要望

原子力規制委員会が原発の新規制基準導入に向け、一部の対策に五年の猶予期間を設ける基本方針を示したことに対し、「原子力規制を監視する市民の会」が二十六日、撤回を求める要請書を規制委事務局に提出した。

要請書では「安全のためには何でもするのが規制委の出発点だったはずが、安全よりも電力会社の都合を優先した」と批判。「地震も津波もテロも猶予期間を待ってくれない」と指摘した。

井野博満東京大名誉教授は同日、都内での会見で「猶予する理由の明確な説明がない。できることは全てする姿勢が大切だ」と強調。元原発設計技術者の後藤政志氏も「猶予期間に事故が起こらない前提に立っている。事故があれば



原子力規制を監視しよう!

毎週金曜日

19:00~20:00

原子力規制委員会・規制庁前
(南北線六本木1丁目駅から徒歩5分、六本木ファーストビル)

- ☆ 原子力規制委員会は、原発を再稼働させるための基準を作っています。規制庁はその事務局で、六本木の一等地に建つ民間ビルに入居。その賃料はなんと毎月4400万円!!
- ☆ パプコメで集めた国民の声を無視し続けている規制委員会に抗議の声をあげましょう。
- ☆ 住宅地なので鳴物はNG、仮装大歓迎です。

最悪の事態になりかねない」と訴えた。

基本方針では、第二制御室を備えた「特定安全施設」など、過酷事故対策やテロ対策

のバックアップ設備の一部に猶予期間を認めている。
(3月27日東京新聞)



「十万人の原発ゼロノミクス宣言」に参加しよう！！

2013年6月までに10万人を超える賛同を集め、「脱原発」を求める市民の声を再び盛り上げましょう。脱原発で経済も変えていこうというメッセージをわかりやすく伝えます。

「原発ゼロノミクス」とは？ 株価を上げインフレにすれば“生活はよくなる”というアベノミクスより、日本の足かせとなっている原発依存を脱し、市場の価値転換にそった新しい経済や、省エネ、自然エネルギーなどの地域に根ざした多様な産業を振興した方が、より抜本的な日本経済の活性化、健全化につながるという経済政策論。

●原発ゼロノミクス宣言●

2012年。

日本は、福島第一原発の未曾有の事故の反省の上に立ち、原発ゼロへの道筋を示しました。

政治を動かしたのは、圧倒的多数の市民の、脱原発への意思表示です。その道筋が、政権交代後の経済政策「アベノミクス」の影でゆらいでいます。

住んでいた土地を奪われ、耐えきれない不安を抱えながら日々を過ごす福島の人々、脱原発を願う多くの人々の声が、かき消されようとしています。

このまま原発依存へ逆戻りすることが、果たしてよいことなのでしょうか。

世界中の多くの国や企業が、事故後、原発からの撤退を決めました。原発の不採算性が明らかで、経済的にもプラスにならないとわかったからです。

そして原発と化石燃料から、イノベーションが進み価格も安

くなった自然エネルギーに、猛スピードでシフトしています。

本来なら、事故がなかったとしても、日本がいちはやく取り組むべきこと。

今後人口の減少にあわせてエネルギー消費も減っていく日本に、大量生産・大量消費を前提にしてウランや化石燃料の輸入に24兆円も支払うエネルギー政策は、もうふさわしくありません。

「原発ゼロノミクス」は、原

発依存、エネルギー輸入にたよる古い経済のしくみを見直し、自然エネルギーをコアにした地域分散ネットワーク型経済への移行を考えていきます。

キーワードは、「省エネ」「創エネ」、そして「ITネットワーク」。これまで、原発や化石燃料のエネルギーを使うことで地域の外に流出していたお金を自然エネルギーの地産地消によって地域内にとどめ、多彩な関連産業と雇用を創出。

もうつくらないで核燃料！

4月29日、5月6日（月・祭）14:30~16:00

GNF-J 表門（京浜急行/JR 久里浜駅から徒歩15分）

☆「災害が起きてからでは遅いのです。」そんな地域住民の思いから、グローバルニュークリアフュエル・ジャパン（GNF-J）前で毎週月曜日「もうつくらないで核燃料」の声をあげています。

☆祭日の月曜日は原発ゼロにむけて多くの人たちのつながりを作ろうと、幅広く参加を呼びかけています。

☆関西電力高浜原発用のMOX（プルトリウム・ウラン混合）燃料がフランスから輸送される予定です。GNF-Jは、東京電力などの燃料を横須賀で製造、現在建設中の大間原発のMOX燃料をフランスに発注しています。

地域経済を元気にすることで、脱温暖化しながら日本経済全体の再生をめざす経済システム提案です。

主役は、国でも大企業でもありません。そこに住み、そこで

生き、原発ゼロを求める私たち一人ひとりがプレイヤーになって、新しい経済を作っていきます。

あなたの原発ゼロノミクス宣言をお待ちしています。

<http://zeronomics.wordpress.com/>



参議院選山口地方区補選で脱原発候補者 “平岡秀夫さん”を当選させよう！

夏の参議院選挙の前哨戦となる参院山口補欠選挙（4月11日告示、28日投開票）に平岡秀夫さんが無所属候補として立候補されることとなりました。

平岡さんは衆院選挙に5回当選（うち3回は小選挙区で勝利）されたベテラン議員、民主党所属の脱原発派です。脱原発法制定全国ネットワークも支持を決めました。山口県にお知り合いがいらしたらご紹介ください。

呼びかけ文の一部をご紹介します。

安倍首相のお膝元、参議院山口補選で勝利し、 原発推進安倍政権に大打撃を！

2008年補欠選挙での勝利は平岡さんの勝負強さを示しており、今回の補選でも持ち前の粘り強さを発揮し、原発推進の安倍政権に対して、安倍首相の地元であり、上関原発の新設が計画されている山口県で痛打を浴びせることができれば、脱原発勢力の反転攻勢のきっかけをつかむまたとないチャンスとなると言えます。

この山口参議院補選は、夏の参議院選挙の前哨戦として極めて重要です。ここで、脱原発勢力が結束して安倍首相のお膝元といえる山口県で平岡さんが勝利することができれば、夏の参院選挙勝利に向けての大きな橋頭堡を築くことができるでしょう。

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川 定例会のお知らせ

日時 4月30日(火) 午前11時～午後3時

場所 神奈川県民活動サポートセンター 703号室

アクセス：横浜駅西口ヨドバシカメラ裏

反原発出前します！ 2013年連続講座

【連続講座の内容一部変更】

第6回 4月11日

電気は本当に足りないのか？

第7回 4月25日

チェルノブイリを見つめて
～フクシマのこれからを考える
講師：向井雪子さん

（チェルノブイリ子ども基金）

第8回 5月2日

収束しない福島第一原発事故
& 私たちの選択

—正しく判断するためには—

昼の部は 13:30～15:45

夜の部は 18:30～20:45

（昼夜は同じ内容です）

会場：

昼の部(全回)、夜の部(4/11)

スペースたんぼぼ

（JR総武線水道橋駅徒歩）

夜の部(4/25、5/2)

連合会館(旧総評会館)

（東京メトロ千代田線

新御茶ノ水駅徒歩ゼロ分）

参加費：1回700円

主催：反原発出前のお店

賛同団体：原子力資料情報室
平和フォーラム

参加申込はメールで

team-takagi@mbr.nifty.com

プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川

〒221-0002 神奈川県横浜市神奈川区大口通 83-2-213 (水沢気付)

Tel&Fax.045-423-0341 pu-free-com@k.nifty.jp

<http://pu-free-com-kana.cocolog-nifty.com/blog/>